

【2018年度 京丹ブロック共同宣教司牧 長期・中期・短期計画】

京都司教区 京都南部地区京丹ブロック

1. 長期計画（2013年度作成）

地域に対して福音宣教をおこなって行く教会共同体となっていきたいと思います。

2013年度に制定された長期計画は、以下の二項目をこの地域の教会共同体の歩むべき方向性を示すものとして立案されています。 ①「信仰養成の観点から」 ②「小教区適正配置の観点から」

本年度も引き続きこの長期計画を念頭に置きながら、京丹ブロックの教会共同体は、福音宣教者の集まりとして存在します。

その実行計画として、今年度におこなう短期計画を新たに制定します。

2017年度においては長期計画の5年目にあたり、これまでの評価反省を踏まえた上で、新たな中期計画を策定しました。

以下に示すブロック基本方針に基づき、各小教区で具体的な活動計画を策定し実行していく。

2. 中期計画（2017年度作成）

・長期計画の5年目に当たり、ブロック内各小教区のビジョンを持ち寄り、後半へ向けたプロジェクトチーム(仮称)を作るなどして、短期計画の実行計画・具体的行動・評価反省・それに基づく更なる行動に繋げてブロックの動きを確認し、取り組みを継続・発展させていきます。

・また、追加項目として、教皇フランシスコの「回勅 ラウダート・シ」を基にして、インテグラル(総合的な)エコロジーを考え具体的に取り組んでいきます。

3. 短期計画

①2018年・司教年頭書簡（エコロジカルな回心～教皇フランシスコ回勅『ラウダート・シ』の呼びかけ～）に基づく信徒間の意識を高める施策等の実践

- ・教皇フランシスコは地球環境の深刻な破壊と危機を憂い、この問題を、地球という共通の家に住む人類全体で真剣に受けとめ、その解決のために具体的に行動しようと呼びかけています。また「回勅 ラウダート・シ」の
- ・ブロック全体の取り組みとして、機会あるごとに年頭書簡の勉強会や分かち合いを行い、「回勅 ラウダート・シ」に書かれた教皇フランシスコの意図を少しでも多く理解し、信徒間で共有できたものを個人・小教区・ブロックへと広げていき、その効果が永続的なものと成る様に活動して行きます。
- ・環境への身近な取り組みとしては、ゴミ問題、特にゴミの分別と“3キリ運動”（食べキリ、水キリ、使いキリ）等を継続しゴミの削減に努めます。

②家庭における宣教司牧の充実

- ・家庭内で具体的に取る祈りの実践、聖書の朗読や分かち合いなどを今一度、推し進めます。
- ・司祭の家庭訪問を円滑に進めるために、希望者の情報提供等を実施する。
- ・教会から離れている家族、教会へ来られない家族のために祈ります。
- ・独居世帯の方々に留意し、つながりを確認できるよう工夫し、実践に取り組みます。
- ・教会から離れている若者のために、教会の行事の案内を行います。
- ・教会に来られない方のために病床訪問を引き続き継続していきます。
- ・祈りを日常化する一祈る場所、時間を決めて祈ることから始める。例えば、
 - 1) 朝のアラームに「祈り」とタイトルをつける。
 - 2) 食前、食後に+を切る、手を合わせる。
 - 3) 十字架を身につける（思い出すために）。
 - 4) 射祷（森田神父：サイレンの音を聞いたら祈る、マザーテレサ“フラッシュをたかれるたびに微笑みを返すことで誰かが救われることができますように”）など、積極的に推進して行きます。

③ 子どもたち及び青少年の育成支援を強化

- ・次の世代のリーダーとなるべき青年たちの集まり、「京丹ブロック（K T B）中高生会」の活動を継続して支援して行きます。
- ・教会家族の一員である青年との関係性の構築 — 挨拶・名前と呼ぶ・対話・認め合い青年の声を取り込んだ活動で世代を越えた交流を行って行きます。
 - 1) 親の関心、教会へ送り出す、ということに積極的になってもらう。
 - 2) 声かけをする。全信徒が違う世代と話をする。
 - 3) 役を与えて、寛大に認める。
 - 4) 教会の信徒みんなで同じ食卓で食事をするなど具体的に取り組んでいきます。
- ・教区主催の中高生会や2018ワールドユースデーin Panama、アジア体験学習、広島巡礼等に参加する青少年たちを積極的にバックアップします。（参加経費の支援など）
- ・望洋庵の活動を若い信徒に紹介し、支援します。
- ・ブロックで行われる子どもたちを中心とした遠足などの催しを今年も実施します。
- ・子供たちの減少に伴って、日曜学校の小教区単独から共同開催なども検討して行きます。

④ 社会に奉仕する教会共同体

- ・社会に奉仕する教会共同体として、教区からの要望をもとに「いのち・平和・環境部会」設置のためにを、まずは各小教区の活動内容を把握し、ブロック内の情報を収集し準備を推し進めます。
- ・開かれた教会作りを実践するため、地域の人びとと交流を深めます。
- ・平和を求める活動：現在の世界情勢を意識して積極的に、世界平和への祈りを行います。具体的には、「西山地区平和を作り出すキリストと市民集い」・「宗教懇話会」へ支援・積極的な参加を促します。
- ・従来から諸活動へ支援（福祉施設、学校施設、ホームレス、母子家庭子、依存症者自助グループ等）について、理解を深め交流していく機会を持ちます。
- ・ミサに来られる外国の方達（最近多いのはベトナムの青年グループ）が、互いの交流と横のつながりも持てるようにコミュニティの場を提供して行きます。